

(様式4)

## 令和3年度中国・四国ブロック事業報告

### 1. 活動テーマ

「 “未来を創造する公衆衛生看護活動の展開”～保健師の原点から住民とともに創る未来～ 」

### 2. 目的

全国保健師長会の活動を共有するとともに、保健師活動における健康危機管理への対応の取組を推進する。

### 3. 実施状況

回	開催日	場 所	内 容
	令和3年6月～9月	メール	<b>【ブロック研修会・支部長会議開催準備】</b> ・6月 研修会内容及び講師選定のための情報収集、各支部長からの意見集約 ・7月 講師決定、依頼 ・9月 講師及び事務局との連絡調整、研修方法、アンケート等各支部長からの意見集約
1	令和3年9月18日	web 開催	<b>【第1回ブロック理事・支部長会議】</b> 12名参加 ・全国保健師長会理事会等の報告 ・ブロック研修会の開催計画(案) ・その他各支部活動状況等情報交換
2	令和3年11月20日	web 開催 後日オンデマンド配信	<b>【ブロック研修会】</b> 256名参加 ・講演 ＜テーマ＞「保健師活動における健康危機管理への対応～新型コロナウイルス感染症への対応経験を踏まえて～」 ＜講 師＞宮崎 美砂子 先生 国立大学法人千葉大学大学院 看護学研究院 地域創成看護学講座 ・全国保健師長会活動報告
	令和3年12月～1月	メール	<b>【ブロック研修会アンケート集約】</b> ・web 開催及びオンデマンド配信後のアンケートの提出
3	令和4年3月12日	web 開催	<b>【第2回ブロック理事・支部長会議】</b> 11名参加 ・各支部活動報告 ・ブロック活動の評価及び次年度事業計画 ・意見交換

#### 4. 結果・課題

コロナ禍であることから、支部長会及びブロック研修会は web 会議で開催した。

支部長会は集合形式では開催できなかったが、web 会議とすることで、画面越しではあるが顔を見合わせた情報交換が効率的に実施できた。

研修会は、開催後にオンデマンド配信としたことから、事前の申込みを上回る参加者数となった。集合形式や当日参加ができない会員には、受講しやすい状況となった。また、事前にオンデマンド配信を決めていたことから、研修会として活用した支部もあった。研修のオンデマンド配信は、より多くの会員の参加のためには有効な手段である。

WEB 研修では意見交換が難しいが、各支部長を通じて研修参加者の災害経験の状況を聞き取り、結果をまとめてブロック会員と共有することにより、会員間で情報を共有することができた。

#### 5. 支部活動の特徴

9 県 1 市の 10 支部で構成され、各支部で研修会や現任教育の推進などに取り組んでいるが、各支部とも新型コロナウイルスの対応業務が繁忙で支部活動に取り組めない状況にあった。

各支部の意見集約には、メールなどによる書面で実施することが多かったが、多忙な中であつても迅速な返信等の協力があり、円滑な業務につながった。

#### 6. 委員・支部長 氏名

#### 所属

○理事	岩井 玲子	高知県子ども・福祉政策部子ども・子育て支援課
理事	吾郷 寿子	松江市・島根県共同設置松江保健所医事・難病支援課
鳥取県	川本 かづ代	鳥取県西部総合事務所米子保健所医薬・感染症対策課
島根県	原 香代子	安来市健康福祉部いきいき健康課
岡山県	孝忠 トシ	岡山県保健福祉部保健福祉課地域福祉班
広島県	山口 恵	広島県西部保健所保健課
山口県	荒瀬 敦子	山口県健康福祉部高齢福祉課
徳島県	浦西 由美	徳島県東部保健福祉局<徳島保健所>感染症・疾病対策担当
香川県	大平 明美	香川県中讃保健福祉事務所保健対策第一課
愛媛県	倉田 朋子	愛媛県中予保健所健康増進課
高知県	林田 享子	高知県安芸福祉保健所地域支援室
広島市	草野 富美子	広島市西区厚生部地域支えあい課

責任者○印